

日本理学療法士協会 中長期計画 骨子

**本会が
目指す姿**

疾病・障がいとともに安心・安全に暮らせる社会の実現

心身ともに
健やかに暮らせる
社会の実現

国民が相互に
支え合って
住みたい地域で
人生を過ごせる
社会の実現

安定した 組織基盤の構築

中長期ビジョン

アクセスしやすい理学療法の提供

理学療法 の 質 向 上

質の高い人材確保

健康増進・予防への寄与

スポーツ領域での寄与

社会の需要への柔軟な対応

地域に寄り添った組織の強化

地域と協働した課題の解決

多職種との連携強化

国を超えた地域活性化

会員サービスの強化(賛助会員を含む)

理学療法士のプレゼンスのさらなる向上

組織運営体制の強化(協会組織・事務局組織全体)

安定した収支計画

注力する領域

保険領域の理学療法の提供体制強化、医療・介護・福祉の連携強化、福祉領域のサービス向上(発達障害等)、理学療法への理解・認知度向上

科学的根拠の収集・分析、理学療法の標準化、学会連合との連携の深化

適正な報酬改定と処遇改善、生涯学習制度のインセンティブ導入

公衆衛生および保健分野での活躍、予防理学療法の発展

アスリートへの支援、ライフパフォーマンスの向上に向けたスポーツの推進、
地域と寄り添ったスポーツ分野への参加

タスクシフト・タスクシェアの推進、社会変化に適応した法改正、
理学療法の先駆的な職域の開拓

都道府県理学療法士会の発展、市区町村における事業の活性化、ブロック等における会員の交流、共助、学術・研修・職能活動の実践

地方行政との関係性深化、地域のニーズに合わせたサービス提供

医療関連団体との連携強化

国際活動への積極的な参加、地域に根ざした共生社会の実現(CBID)への取組

卒前・卒後の学習制度、資格制度(リカレント教育)の強化、
職能団体としてのロイヤルティ(Loyalty)向上

国政との連携強化

組織率の安定、評価制度の導入、規定の整理・検討、
組織の多様性・公平性・包摂性の担保、DXの推進、緊急事態への対応力強化

持続可能な組織運営のための会費改定、支援金等の定期的な見直し、事業の整理、会費外収入の確保

中期

長期

2024

2025

2026

2027

2030

2040

具体的な
事業・指標
ごとに
目標達成年や
数値目標を
設定



定期的に
評価
改善
計画
実行

中長期計画の見直し